



かじか NEWS

2021 年度2月
教育支援センター
「かじか」
第7号

「かじか」の5機能を振り返って(〜♪) ◆

2021 年度も市教委の方針「教育支援センターの機能拡大に向けて ~居場所のない子ゼロ~」のもと、「かじか」の「5つのセンター機能」に沿って取り組んできました。その概要をお伝えいたします!!



☆☆☆1年間こんな事に取り組んできました(〜♪)☆☆☆

◆「教育支援センター」としての機能

- 個別支援と集団支援(1 学期: 雰囲気づくり, 元気づくり, その気づくり)を行う。
- 個別支援と集団支援(2・3 学期: 自信づくり, 学び合いづくり)を行う。
⇒「共同活動」を通しての個別支援と集団支援をめざした。
ex. いちご狩り体験、販売学習体験、落語と演歌、そうめん流し、茶道体験、センター外活動 調理活動 など
⇒「個別の支援シート」を作成し毎月の PDCA を行ってきた。

◆「不登校対策センター」としての機能

- 「かじか NEWS: 学校版と HP 版」の定期的発行を行う。
- アウトリーチは、火曜日と木曜日の午後を中心に、指導員 2 名体制で行う。
⇒「かじか NEWS」の発行を、学校配布版は月 1 回、HP 版は学期 1 回(市 HP にて)行ってきた。
⇒ニーズに応じてのアウトリーチをおこなってきた。

◆「相談支援センター」としての機能

- 保護者会を学期に 1 回、通室生の保護者に限らず広く呼びかけて行う。
- 通室生へのカウンセリングは毎月 2 回、「お話会」として実施する。
⇒第 1 回保護者会(1 学期)~2 名の保護者の参加で、「かじか」の活動紹介や質問を通しての交流を行った。
第 2 回保護者会(2 学期)~親子レクとして実施した。
保護者 6 名の参加があった。
⇒「お話会」は計画通り実施できた。臨床心理士の先生に直接相談する機会もあった。
⇒SSW による SST(ソーシャルスキルトレーニング)を毎月 1 回実施してきた。
⇒学期末を中心に学校訪問を実施した。
⇒要請をいただいた学校のケース会議に参加した。
⇒随時の見学・体験通室の受け入れと、保護者の相談を行ってきた。

「○」~目標や指標
「⇒」~実績

◆「教職員研修センター」としての機能

- 事例検討会を関係機関からの参加者を得て行う。
⇒毎月第 3 火曜日に、実施できた。
⇒参加者~市教委、SSW、地域児童生徒支援コーデ、きらきら、学級担任
⇒PCAGIP 法(ピカジップ法)により実施~役割分担をして「新しい気づき」を見出す方法(事例提供者、ファシリテーター、記録者、リサーチパートナーを分担)。
⇒今年も学級担任の先生のご参加をいただいて実施することができた。
⇒市教委主催の会議を「かじか」にて開催。

◆「学習支援センター」としての機能

- ニーズと教育課程にそった学習支援を行う。
⇒教育課程に沿いながらニーズに応じた学習支援を、できる限りの個別支援による個別学習の保障をめざしてきた。
ex.教科書、参考書・問題集、学校からのプリント
中 3 生の入試に向けて など